



土樋キャンパス
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
● JR「仙台駅」よりタクシーで10分
● 地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩5分
● バス停「福祉プラザ前」から徒歩5分

五橋キャンパス
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1
● JR「仙台駅」から徒歩約15分
● 地下鉄南北線「五橋駅(東北学院大学前)」直結
● バス停「五橋駅」から徒歩約1分

※会場には駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

東北学院大学公開講座情報 メール配信サービスについて

毎年春期(4-8月:配信5月予定)と秋期(9-3月:配信8月予定)の年2回、公開講座ガイドの発刊に合わせて公開講座ガイドをメールで配信します。ご希望の方は、登録フォームで配信登録をお願いいたします。

※迷惑メール対策などでドメイン指定受信を設定されている場合、メールが届かない場合がございます。



.....
@mail.tohoku-gakuin.ac.jpの「ドメイン指定受信」の設定と「迷惑メールボックス」の設定解除をお願いいたします。

東北学院大学
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp>



個人情報の保護について

登録いただいたメールアドレス等の個人情報は、公開講座情報の配信及び改善以外には使用しません。本院の個人情報保護に関する取組については、学校法人東北学院個人情報保護に関する基本方針をご覧ください。なお、個人情報についてのお問い合わせ・訂正などがありましたら、お手数ですが各実施機関までご連絡ください。

キーワードの検索・使い方について

東北学院大学ホームページの「研究・産学連携・地域連携」のタブから「公開講座」を選択します。講座検索の「探したいキーワードを選択してください」からキーワードを選択すると関連する公開講座が表示されます。

講座検索

探したい開催希望日を選択してください

探したいキーワードを選択してください

公開講座
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/compatibility/>



公開講座

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
TGU OPEN COLLEGE

ミライを拓く道標
2025 Autumn

学問をもう一度

公開講座等へのお申込みとご参加についてのお願い

※申込みが不要の講座につきましては、直接会場にお越しください。
※申込みが必要な講座につきましては、定員になり次第受付を終了いたします。

問い合わせ先

東北学院大学研究支援課
E-mail:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



東北学院大学

公開講座

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
TGU OPEN COLLEGE

ミライを拓く道標

学問をもう一度

社会に出ても、様々な障害や迷い、
想定外の出来事が起こることはあります。
学問は、その先に待つ未来の困難な道に対し
ときに道標となり、ときに道具となって
自分の進むべき道を切り拓いてくれます。

もう一度学びたい。
違うことを学んでみたい。
そんな人の支えになるために
一般に開かれた学問として
公開講座を行ないます。

学長挨拶

コロナ禍が収束したと思いきや、人類は戦争による人命軽視、地震や山火事等の自然災害による被災、そして関税を万能とみなすトランプ政権による「重商主義」に見舞われており、世界や日本は大きく変わろうとしています。

そのような時に思い起こすのは、やはり世界が大きく変動した第2次世界大戦中にアメリカの神学者ラインホルド・ニーバーが唱えた「平静の祈り」です。「神よ、変えられるものを変える勇気を、変えられないものを受け入れる冷静さを、そして両者を識別する知恵を与えたまえ」。現在、一方ではChat GPTに代表される対話型生成AI（人工知能）の登場による「暴走列車」のような変化と、他方では、多くの人々が戦争と自然災害によって「突然の不幸」に見舞われることの繰り返しのの中に、私たちは生活しています。

「変えていいもの」と「変えてはならないもの」を峻別する知恵を、本年度も東北学院大学が市民の皆様提供している数多くの「公開講座」から学んでいただければ、「学都」仙台の都心にある大学として望外の喜びです。

東北学院大学 学長 大西 晴樹

EVENT CALENDAR

9月

4 木	経営研究所 2025年度公開講座 「情報技術と会計」
6 土	研究支援課公開講座 六軒丁学舎～新しい学び場～の"裏" -これからの東北学院大学の公開講座を考える-
20 土	データサイエンス学科公開講座 【A日程】【第1回】星集めゲームを作ろう
25 木	データサイエンス研究所 第4回公開講座
26 金	人間科学研究所 第3回公開講演会 2025年度英語英文学研究所学術講演会
27 土	2025年度総合人文学科公開講座 研究支援課リカレント推進講座

10月

4 土	2025年度地域総合研究所 公開シンポジウム ローカル・ゼブラが拓く地域の未来 ー共感とインパクトでつむぐ地域経済の新モデル 経済学で読み解く東北の人口と生活 【第1回】東北地域の地域課題を考えるー地域経済論の視点からー
9 木	国際学研究所第7回講演会 ーJapanese Popular Cultureー 経済学で読み解く東北の人口と生活 【第2回】人口動向からみた東北地域の持続可能性
11 土	アジア流域文化研究所 2025年度公開講演会 2025年度英文学科公開講義 【第1回】発音されないkの正体:"knight"に見る英語の歴史と今
18 土	データサイエンス学科公開講座 【A日程】【第2回】風船割リゲームを作ろう 経済学で読み解く東北の人口と生活 【第3回】東北地域の水道の将来～水道を経済学から考える～

10月

18 土	2025年度英文学科公開講義 【第2回】クリストファー・マーロウの『フォースタス博士』を読む ーフォースタス博士の宇宙に関する疑問は何を意味していたのか?ー 2025年度「時代の音」 レクチャーコンサート・シリーズ第2回公演 ロマン派の時代／ロマン派の宗教音楽～教会からコンサートホールへ～ 歴史学科第27回公開講座 2025年度英語英文学研究所 定例公開講演会
25 土	経済学で読み解く東北の人口と生活 【第4回】米・野菜の価格と東北経済 2025年度教育学科連続公開講義 「学校教育の今」 【第1回】「今、ことばの教育を考える」 2025年度教育学科連続公開講義 「学校教育の今」 【第2回】「立体図形に関する理解を深める教育内容」

11月

1 土	2025年度教育学科連続公開講義 「学校教育の今」 【第3回】「生活科・総合的な学習の時間の再発見をしよう!」 2025年度教育学科連続公開講義 「学校教育の今」 【第4回】「防災教育の今」 2025年度経済研究所講演会 水道を「わが事」にする住民参加 ー意識系インフラへの転換と共創の可能性 アジア流域文化研究所 2025年度公開講演会 宗教音楽研究所主催 宗教音楽のタベ
8 土	総合人文学科主催 ファカルティ・フォーラム
10 月	法学政治学研究所 第34回公開講座ー市民生活と法ー 【第1回】株式会社の経営体制と経営監視体制
11 火	法学政治学研究所 第34回公開講座ー市民生活と法ー 【第2回】情報法としての著作権法
12 水	法学政治学研究所 第34回公開講座ー市民生活と法ー 【第3回】少子化問題への視座

11月

13 木	法学政治学研究所 第34回公開講座ー市民生活と法ー 【第4回】保険金請求権をめぐる最近の解釈の動向
14 金	法学政治学研究所 第34回公開講座ー市民生活と法ー 【第5回】刑事訴訟の意義など
15 土	データサイエンス学科公開講座 【8日程】【第1回】ゲーム作りの基礎を学ぼう! ヨーロッパ文化総合研究所 公開講演会(後期) キリスト教文化研究所 第64回学術講演会
22 土	宗教音楽研究所主催 「徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカルトオルガン演奏会」 2025年度 東北文化研究所学術講演会
28 金	第61回経営研究所研究会 「事業再生と税務の今日的展開」

12月

20 土	データサイエンス学科公開講座 【8日程】【第2回】マリオ風2Dアクションゲームを作ってみよう!
------	--

2026年 1月

10 土	図書館・東北学院史資料センター主催 公開講座 【第1回】シュネーダーと日本社会:宣教師の異文化理解 データサイエンス学科公開講座 【8日程】【第3回】オリジナル作品発表会
24 土	図書館・東北学院史資料センター主催 公開講座 【第2回】シュネーダーと学生たち:宣教師と人格教育

1 経営研究所 2025年度公開講座

情報技術と会計

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員30名

■日時:2025年9月4日(木) 全1回
15:00～18:00(受付開始時間 14:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H303教室

情報技術の進歩は企業経営に変化を促しており、帳簿記入の自動化など、会計業務もその対象となっています。今回の講座では会計における情報技術の側面に着目する「会計情報システム」をご専門とするお二人の先生をお招きします。

各先生方の演題
「わが国企業の会計におけるRPAの利用実態」
山矢和輝先生 15:00～予定
「帳簿組織論の発展可能性:データモデル論からの示唆」
奥田真也先生 16:30～予定

講師 奥田 真也(名古屋市立大学大学院データサイエンス研究科 教授)
山矢 和輝(帝京大学経済学部経営学科 准教授)

キーワード

2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
経営研究所 公開講座



■募集人数／定員30名
■受講料／無料
■主催／経営研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■問合せ先／研究支援課(経営研究所担当)
TEL:022-264-6406 FAX:022-264-6530 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

2 研究支援課公開講座

六軒丁学舎～新しい学び場～の"裏"
-これからの東北学院大学の公開講座を考える-

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員200名

■日時:2025年9月6日(土) 全1回
14:00～17:00(受付開始時間 13:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

本講座では、本学の公開講座やリカレント教育の今後について考えます。①2022年度より開始した六軒丁学舎の公開講座に関する4年間のアンケート結果を基に公開講座についての可能性を探る取り組みを紹介します。②仙台の人気洋食店会長・角田氏が地域企業のキャリア支援や顧客満足度を高める経営についてお話しいただきます。③六軒丁学舎2022で講師を務めた菅氏が、本学での学び、仙台と首都圏での学びの違い等についてお話しいただきます。仙台での学びの魅力と必要性を感じていただける内容で構成します。

講師 六軒丁学舎の中の人(元研究支援課職員)

六軒丁学舎の"裏側"ー公開講座が果たす大学の学びの可能性ー
研究支援課公開講座六軒丁学舎ー新しい学び場ーの全4年分のアンケートの集計結果などを基にしながら、その企画、準備の裏側、その講座の果たした役割について解説します。また、今後の東北学院大学の公開講座に必要なことは何かなど担当者としての目線でお話しします。

角田 秀晴(レストランHACHI(株)オールスパイス代表取締役会長)

仕事を通した成長も報酬のひとつ、レストランHACHIのESとCS
レストランHACHIの取り組みを通じ、「人の手による料理とサービス」による銘店づくりや、従業員満足(ES)と顧客満足(CS)のバランスを軸に、社員一人ひとりのキャリア形成を支える多様な実践事例を紹介します。成長を報酬と捉える社風や「おもてなし手話」などの工夫を交え、働きがいと組織の可能性を考えます。

菅 貴子(Kids Career School代表)

私らしく学ぶ魅力ーリカレント教育を考えるー

仙台と東京の学びの環境の違いやそれぞれの魅力、今後の地域間連携の可能性にも触れながらリカレント教育に必要な視点から起業に至るまでの実体験や育児・家事・仕事を両立する中で直面した課題と工夫を交え学び直しの意義と可能性を考えます。

■東北学院大学研究支援課
キャンパス移転と組織再編に伴い新設された部門で、土樋・五橋の両キャンパスに拠点があります。研究支援係は研究所の予算管理、講演会開催、紀要発行などを担当。図書係は研究図書の実管理や貸出を行い、資料室の運営も担います。研究助成係は科研費や受託研究など外部資金の手続き、公正な研究活動の推進、知的財産管理を担当し、研究環境の整備と資金獲得支援に力を入れています。

■六軒丁学舎
六軒丁という歴史的な場所で新しい学びの形として、より市民の学びのニーズに寄り添い、またこれからの「せんだい」、東北、日本、世界の街づくりに貢献できるよう参加者同士の交流を通して学びの環境を醸成していくことを目的として2022年度より2024年度まで実施をしてきた一般市民向けの公開講座。

■ハンバーグHACHI

1979年創業の宮城県発の洋食レストラン。運営は株式会社オールスバイス。仙台・名取を中心に6店舗を展開。ふわふわジューシーなハンバーグと日本一に輝いたナポリタンが名物。地産地消や手づくりにこだわり、地域に根ざした“もう一つの家族”を目指す。ユニクロやロフトなどのコラボ商品を展開する他、冷凍食品や通販事業も拡大中。

■ES(Employee Satisfaction)

従業員満足度。働く人が職場環境や業務内容、人間関係、給与・福利厚生などに対してどれだけ満足しているかを示す指標。満足度が高い職場では、従業員のモチベーションや生産性が向上し、離職率の低下や顧客対応の質の向上にもつながる。企業にとっては、持続的な成長と組織力の強化に欠かせない重要な経営指標の一つとなっている。

■CS(Customer Satisfaction)

顧客満足度。商品やサービスを利用した顧客が、その期待に対してどれだけ満足したかを示す指標。企業にとってリピーターの獲得や口コミによる新規顧客の拡大、ブランドの信頼性向上などに直結する重要な要素。高い顧客満足度を維持することが競争力のある経営や長期的な成長にもつながると考えられている。

■明治大学大学院

高度な専門知識と実践的能力を備えた人材の育成を目的とする大学院。一般的な学術研究中心の大学院とは異なり、ビジネス、会計、法務、公共政策といった分野において、実社会で即戦力として活躍できるプロフェッショナルの養成に重点を置いている。各研究科では理論と実務を融合させたカリキュラムを展開しており、社会人の学び直しにも対応できる柔軟な履修環境が整備されている。

■Kids Career School

2019年12月設立。「3歳児から始めるキャリア教育プログラム」を開始。スタッフは全員キャリアコンサルタントの有資格者で、MBA取得者や多様な分野での実績を持つ専門家で構成される。5名体制で始動し、これまでに延べ100組ほどの親子にプログラムを提供。対象は3歳児から小学6年生までで、月齢ではなくキャリアステージに応じた完全オリジナルの内容を実施している。研究に基づいた「キャリア刺激」により、お子さまの可能性を広げるsmall winを積み重ねる授業は、家庭と共に成長を支える伴走型として高評価を得ている。

キーワード

2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
研究支援課 公開講座 六軒丁学舎



- 募集人数／定員200名
- 受講料／無料
- 主催／研究支援課
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームからお申込みください。
- 問合せ先／研究支援課
TEL:022-264-6362
Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp (件名には「六軒丁学舎の件」としてください。)

3 データサイエンス学科公開講座
【A日程】楽しく学ぼうプログラミング教室

申込必要／無料／五橋キャンパス／定員各回8名

- 日時:2025年9月20日(土)・10月18日(土) 全2回
10:30～12:00(受付開始時間 10:00)
- 会場:五橋キャンパス 未来の扉センター

2020年からのプログラミング教育の必修化により、プログラミングへの世間的な関心が高まっています。プログラム作成中に生じた課題に対し、論理立てて考え、解決するプロセスを通して子どもの論理的思考力・問題解決能力が向上することが期待されています。本イベントでは、MakeCode Arcadeでゲーム作成を行い、ArcadeShieldを用いて作成したゲームをプレイします。

講師 松本 章代(本学データサイエンス学科教授)

第1回 2025/9/20(土) 10:30～12:00 (受付開始時間 10:00)
星集めゲームを作ろう

第2回 2025/10/18(土) 10:30～12:00 (受付開始時間 10:00)
風船割りゲームを作ろう

キーワード

2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
データサイエンス学科 公開講座



- 募集人数／定員各回8名
- 受講料／無料
- 主催／データサイエンス学科
- 対象／小学校4年生～6年生(該当しない場合はご相談ください。)
- 申込方法／申込フォームからお申込みください。
- 申込先／データサイエンス学科 松本章代研究室
- 問合せ先／データサイエンス学科 松本章代研究室 Email:akiyolab0@gmail.com
- その他／

- ・開催日 9月20日(土) 第1回 星集めゲームを作ろう
10月18日(土) 第2回 風船割りゲームを作ろう
- ・午前(10:30～12:00)と午後(13:00～14:30)に同内容を実施しますので都合の良い時間帯をお申し込みください。
- ・2回ご参加されることを前提としていますが、1回のみのご参加も可能です。
- ・原則として保護者同伴をお願いしております。
- ・作成したゲームのファイルはお持ち帰りいただけます。イベント後はご自宅のPC等で遊んだり、続きを作成したりすることが可能です。
- ・本イベントは教員指導の下、学生(大学4年生)が中心となって実施するものです。
- ・本イベントは社会貢献および研究を目的として開催しております。
- 以下についてご承諾いただける方のみお申し込みください。
 - アンケート回答のご協力をお願いします。
 - イベント中に撮影した写真を広報・研究目的で使用する場合があります。

4 データサイエンス学科公開講座
【B日程】初めてのプログラミング教室

申込必要／無料／五橋キャンパス／定員各回8名

- 日時:2025年11月15日(土)～1月24日(土) 全3回
10:30～12:00(受付開始時間 10:00)
- 会場:五橋キャンパス 未来の扉センター

2020年からのプログラミング教育の必修化により、プログラミングへの世間的な関心が高まっています。プログラム作成中に生じた課題に対し、論理立てて考え、解決するプロセスを通して子どもの論理的思考力・問題解決能力が向上することが期待されています。その中で、子どもたちにプログラミングの楽しさを伝え、関心を引き出すことが必要だと考えています。本イベントでは、プログラミング初心者を対象にMakeCode Arcadeでゲーム作成を行い、ArcadeShieldを用いて作成したゲームをプレイします。

講師 松本 章代(本学データサイエンス学科教授)

第1回 2025/11/15(土) 10:30～12:00 (受付開始時間 10:00)
ゲーム作りの基礎を学ぼう!

第2回 2025/12/20(土) 10:30～12:00 (受付開始時間 10:00)
マリオ風2Dアクションゲームを作ってみよう!

第3回 2026/1/24(土) 10:30～12:00 (受付開始時間 10:00)
オリジナル作品発表会

キーワード

2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
データサイエンス学科 公開講座



- 募集人数／定員各回8名
- 受講料／無料
- 主催／データサイエンス学科
- 対象／小学校4年生～6年生(該当しない場合はご相談ください。)
- 申込方法／申込フォームからお申込みください。
- 申込先／データサイエンス学科 松本章代研究室
- 問合せ先／データサイエンス学科 松本章代研究室 Email:akiyolab0@gmail.com
- その他／

- ・開催日 2025年11月15日(土) 第1回 ゲーム作りの基礎を学ぼう!
2025年12月20日(土) 第2回 マリオ風2Dアクションゲームを作ってみよう!
2026年1月24日(土) 第3回 オリジナル作品発表会
- ・午前(10:30～12:00)と午後(13:00～14:30)に同内容を実施しますので都合の良い時間帯をお申し込みください。
- ・第1回のみのご参加は可能ですが、第2回、第3回からの途中参加は対応いたしかねます。
- ・原則として保護者同伴をお願いしております。
- ・作成したゲームのファイルはお持ち帰りいただけます。イベント後はご自宅のPC等で遊んだり、続きを作成したりすることが可能です。
- ・本イベントは教員指導の下、学生(大学4年生)が中心となって実施するものです。
- ・本イベントは社会貢献および研究を目的として開催しております。
- 以下についてご承諾いただける方のみお申し込みください。
 - アンケート回答のご協力をお願いします。
 - イベント中に撮影した写真を広報・研究目的で使用する場合があります。

5 データサイエンス研究所
第4回公開講座

国立音楽大学における音楽データサイエンスの教育研究

申込必要／無料／五橋キャンパス／定員150名

- 日時:2025年9月25日(木) 全1回
17:00～19:00(受付開始時間 16:30)
- 会場:五橋キャンパス 講義棟L401教室

国立音楽大学では2023年4月から「音楽データサイエンスコース」を設立し、音楽の専門知識を持つ音大生がデータサイエンスを学ぶことで、音楽と演奏に関する分析と生成を学びながら、社会に広く貢献する教育研究を展開している。本講座では国立音楽大学における音楽データサイエンスの教育研究について紹介する。特に近年再流行の兆しを見せるシティポップに関する音楽データ解析、打楽器・クラリネット・フルートの演奏に関する演奏科学に関する研究、および一般大学との教育連携に基づいた音楽データサイエンス合同ゼミにおける試みを紹介する。最後に、データサイエンスが音楽に貢献できる可能性について議論する。

講師 三浦 雅展
(国立音楽大学 音楽学部 音楽文化教育学科 音楽情報専修 准教授)

キーワード

2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
データサイエンス研究所 公開講座



- 募集人数／定員150名
- 受講料／無料
- 主催／データサイエンス研究所
- 後援／日本音響学会東北支部
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームからお申込みください。
- 申込先／データサイエンス研究所
TEL:022-354-8727 Email:rids@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- 問合せ先／データサイエンス研究所
TEL:022-354-8727 Email:rids@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／メールでお申込みの際、件名は【2025年度データサイエンス研究所 第4回公開講座申込】とし、①氏名(カナ)②メールアドレス③ご身分(社会人、学生(社会人学生を除く)、その他)④所属をお知らせ下さい(当研究所からのご案内などをお送りする際に利用させて頂きます)申込先着順。申込締切日は9月20日(土)です。

6 人間科学研究所
第3回公開講演会

生成AIを用いた文献調査の実験～人間科学分野での活用～

申込必要／無料／五橋キャンパス／定員70名(予定)

- 日時:2025年9月26日(金) 全1回
15:00～17:00(受付開始時間 14:30)
- 会場:五橋キャンパス 講義棟 L301教室

生成AIを活用した実用的なツールの中には、研究における文献調査を支援できるものが多数登場している。また大手生成AIプロバイダが提供するDeep Research機能は、学術向けでないながらも注目を集めている。本講演ではこれらの動向を踏まえ、研究活動に不可欠な文献調査における生成AI活用の可能性を探るとともに、人間科学分野での応用を検討する。生成AIの基盤である大規模言語モデル(LLM)の特性や、検索拡張生成(RAG)・エージェント化といった技術的背景も解説する。

講師 矢田 竣太郎(筑波大学図書館情報メディア系准教授)

キーワード

2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
人間科学研究所 講演会



- 募集人数／定員70名(予定)
- 受講料／無料
- 主催／人間科学研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 共催／人間情報学研究科
- 申込方法／申込フォームからお申込みください。9月19日(金)締め切り。
- 申込先／人間科学研究所 TEL:022-354-3175
- 問合せ先／人間科学研究所
TEL:022-354-8175 Email:irhs-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／当日は、ツールを実際に使ってみるハンズオンも行います。ネット接続可能なパソコンをご持参ください。
- 会場では、TGWIFI(学内関係者のみ)とeduroam(ご利用者のみ)が利用可能です。

7 2025年度
英語英文学研究所学術講演会

「パ行音の歴史」

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員100名

- 日時:2025年9月27日(土) 全1回
14:00～16:00(受付開始時間 13:30)
- 会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

パ行音で始まる語は、そのほとんどがパイナップル、ブードル、ベンのような外来語で、なければ、バリバリ、ピシッと、ボキボキなどの擬音語・擬態語(オノマトペア)に限られる。どうしてこのような片寄った現れ方をするのだろうか。例えば、英語や中国語などの外国語ではpで始まる語はふつうに存在する。これに対して、日本語のパ行音pは一人前の音ではないように見える。この問題を解くカギはパ行音が握っており、謎を明らかにするためには日本語の歴史をたどる必要がある。江戸時代の初めまでさかのぼると、今日と少し違う日本語の様子も見えてくる。この時間では、今日のパ行音がどのようにして出来上がったのか、古代からの日本語の変化をたどりつつ明らかにする。

講師 高山 知明
(金沢大学 人間社会研究域・人文系学教授)

キーワード

2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
英語英文学研究所 講演会



- 募集人数／定員100名
- 受講料／無料
- 主催／英語英文学研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込みフォームからお申込みください。
- 申込先・問合せ先／研究支援課(英語英文学研究所担当)
TEL:022-264-6401 Email:c1511023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／お申込みは、HPの「申込フォーム」リンクよりお願いいたします。メールでお申込みの場合は、件名を「英語英文学研究所 公開講座 申込」とし、①「氏名(フリガナ)」と②「電話番号」の2点を、申込先のメールアドレスまでお送りください。
- 事前申込締切は2025年9月25日(木)までです。
- 当日の参加も可能ですが、事前にお申込みいただくと、ご案内がスムーズです。

8 2025年度総合人文学科公開講座
新実在論と解釈学

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員120名

- 日時:2025年9月27日(土) 全1回
13:00～14:30(受付開始時間 12:30)
- 会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H203教室

現代思想において、マルクス・ガブリエルらを中心とする〈新実在論〉の運動は一つの重力圏を形成しつつある。この運動はいわゆる〈ポストモダン〉を超えた次世代の思想を自認するものであるが、そこではしばしば〈解釈学〉にも厳しい批判が浴びせられる。はたして、解釈学は新実在論によって乗り越えられてしまったのだろうか。本発表では〈レトリック〉の概念を媒介として、新実在論と解釈学を総合・止揚することを試みる。

講師 岡田 勇智(本学総合人文学科准教授)

キーワード

2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
総合人文学科 公開講座



- 募集人数／定員120名
- 受講料／無料
- 主催／総合人文学科
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームまたはメールにてお申込みください。
- 申込先／Email:soujin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- 問合せ先／総合人文学科
TEL:022-721-3341 Email:soujin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／メールにてお申し込みの場合は、件名「総合人文学科公開講座申込」とし、①氏名(必須)②ふりがな(必須)③メールアドレス(必須)③電話番号(任意)をご記入ください。

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員200名

- 日時:2025年9月27日(土) 全1回
14:00～17:00(受付開始時間 13:00)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

本講座では、本学のこれからの公開講座として、社会人として新しい挑戦を目指す方々を対象に、学び直しの価値と実践につながる講座についてを考えます。まず、株式会社りらいぶの佐々木社長よりご自身の経営者としての経営と学びの必要性を、次に本学地域総合学部長で2024年度より本院スタートアップ支援担当として理事長特別補佐に就任された伊鹿倉正司教授より本院が展開するスタートアップ支援と学びについてお話しいたします。後半では、パネルディスカッションをとおして、これからの社会を生き抜くうえで必要な学びについて考えます。

- 講師 佐々木 貴史(株式会社りらいぶ代表取締役)
地方の小さな会社のリライブシャツがなぜ100億円も売れたのか
ー学び続ける意味、成功の仕組みー
わずか数年で年商100億円を超える規模に企業を成長させた経験と成功の秘訣を語っていただきます。リライブシャツの開発背景や社会に受け入れられるための仕組みづくり、YouTube番組「令和の虎」での飛躍の裏側を通じて、事業の可能性を切り拓く実践的な知見を共有していただきます。またリカレント教育の観点から起業の有無に関わらず学び続けることの重要性に触れ、未来を切り拓くためのヒントを示唆していただきます。

- 講師 伊鹿倉 正司
(地域総合学部長・地域総合研究所所長・理事長特別補佐(スタートアップ担当))
ユニコロンよりシマウマを一持続可能な地域社会を拓くローカル・ゼブラ企業の挑戦
今回の講演では、地域の課題に取り組むローカル・ゼブラ企業にスポットを当て、国内外の先進例や地域発スタートアップの実践(北海道厚真町などの取り組み)を紹介し、これらの企業が地域にもたらす好循環について、わかりやすくお伝えします。また、官民がどのように手を組むと効果的か、社会的インパクトをどう測るかなど、最新の動きも解説し、皆さんが主体的に参加できる共創のヒントを探ります。

- 株式会社りらいぶ
2017年創業。機能性ウェア「リライブシャツ」シリーズの開発・製造・販売を行う仙台市を本社とする企業。リライブシャツは「着るだけで身体がサポートされる」と評判を呼び、通販サイトや卸売、直営店のリライブハウスをはじめ、全国の代理店や百貨店など販売されている。
■リライブシャツ
株式会社りらいぶが開発した特殊な鉱石をシャツなどの衣類にプリントすることで血行促進を促すとされる機能性ウェア。テレビCMやテレビショッピングの放送などで商品の認知度が急速に高まり、シリーズ累計販売枚数300万枚※を突破している。※2019年7月1日～2025年4月30日集計。
■ユニコロン企業
株価評価額が10億ドル以上、設立10年以内の未上場ベンチャー企業。2013年にアメリカのベンチャーキャピタリスト、アイリーン・リー氏が当時非常に稀であったこのタイプの企業を伝説の生き物「ユニコロン」に例えて名付けたのが始まりとされている。
■ゼブラ企業
主に設立10年未満の社会課題の解決と経済成長の両立を目指す企業。従来ユニコロン企業(急成長を遂げる企業)とは対照的に、持続可能性や社会貢献を重視する点が特徴。この概念は2017年にアメリカの女性起業家たちが提唱し始めたことからとされている。

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

研究支援課 リカレント講座



- 募集人数／定員200名
■受講料／無料
■主催／研究支援課
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／申込フォームからお申込みください。
■問合せ先／研究支援課 TEL:022-264-6362
Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(件名には「リカレント推進講座の件」としてください。)

申込必要／無料／五橋キャンパス／定員30名

- 日時:2025年10月9日(木) 全1回
15:00～16:30(受付開始時間 14:30)
■会場:五橋キャンパス 未来の扉センター

This lecture explores the Japanese Popular culture: the advantages of popular culture, the biases of popular culture as privileging certain social groups and the history of Japanese popular culture form Edo period to contemporary as well as globalization of Japanese popular media.

- 講師 Antononoka Olga(Researcher)
キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
国際学研究所 講演会



- 募集人数／定員30名
■受講料／無料
■主催／国際学研究所
■共催／国際学部
Anyone can attend. The lectures will be conducted entirely in English (日本語はございません).
■申込方法／「Application Form」or「e-mail」or「phone」
■申込先／国際学研究所(平日:月～木 9:30～13:30)
TEL:022-354-8185 Email:iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／国際学研究所
TEL:022-354-8185 Email:iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／When applying by email or phone, please use the subject line "Application for the 7th Lecture (IISC) " and provide ① your name ② your contact information. If any changes occur due to unforeseen circumstances, we will contact you at your registered contact information.

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員200名

- 日時:2025年10月4日(土) 全1回
14:00～17:00(受付開始時間 13:30)
■会場:土樋キャンパス 8号館4階 841教室

本シンポジウムでは、地域社会で共感と持続性を大切にする“ローカル・ゼブラ”企業に注目し、地域金融機関や自治体との連携事例を紹介しながら、地域経済の新しい動きや可能性を探ります。若手企業経営者や地域中間支援関係者による講演やパネルディスカッションを通じて、参加者の皆さまが明日から活かせるヒントをお持ち帰りいただける場にしたいと考えています。地域課題に関心のある方ならどなたでも歓迎いたします。

- 講師 山下 賢太(東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役)
限界の先をデザインする～日本の未来戦略は、島から～
■講師 千葉 大貴(株式会社アキウツーリズムファクトリー 代表取締役)
進化する伴走型地域プラットフォーマー
■講師 石井 規雄(京都信用金庫ソーシャル・グッド推進部 部長)
企業と市民が金融を通じてつながり支え合う社会が未来をつくる
■講師 小松 美香(北海道厚真町まちづくり推進課政策推進グループ 主査)
一人ひとりの挑戦が地域を変える ― ローカルベンチャーと歩む厚真町

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

地域総合研究所 公開講座 シンポジウム



- 募集人数／定員200名
■受講料／無料
■主催／地域総合研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／申込フォームよりお申込みください。
■申込先・問合せ先／研究支援課(地域総合研究所担当)
TEL:022-264-6362 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

持続可能な未来を考える
東北地域が直面する人口減少や高齢化などの課題について、経済学の視点から生活や地域経済への影響を最新のデータや事例に交えて多角的に考察します。受講者が現状を理解し、持続可能な地域の未来について考える機会を提供します。

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員50名

- 日時:2025年10月4日(土)～25日(土) 全4回
13:00～14:30(受付開始時間 12:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

- 第1回 2025/10/4(土) 13:00～14:30(受付時間 12:30)
東北地域の地域課題を考えるー地域経済論の視点からー
東北地域では人口減少、少子化、高齢化が、全国に先駆けて起こっているといわれます。本講座では、地域経済論の視点から東北地域の現状を解説し、これからの地域づくりについて考えます。
■講師 望月 理生(経済学科講師)

- 第2回 2025/10/11(土) 13:00～14:30(受付時間 12:30)
人口動向からみた東北地域の持続可能性
東北地域は全国的にも少子高齢化と人口減少が顕著に進行している地域といわれています。最新の人口動向データをもとに、東北地域が直面する課題とその対応策について、経済学的視点から考察します。
■講師 佐藤 康仁(経済学科教授)

- 第3回 2025/10/18(土) 13:00～14:30(受付時間 12:30)
東北地域の水道の将来～水道を経済学から考える～
人口減少や少子高齢化の進む東北地域において、安価で安全な水を供給し続けるため水道料金が高まり続けています。どのような水道料金を設定することが望ましいのか、経済学が考えてきた「社会的に望ましい料金体系」を説明します。
■講師 篠崎 剛(経済学科教授)

- 第4回 2025/10/25(土) 13:00～14:30(受付時間 12:30)
米・野菜の価格と東北経済
経済学の基礎である需要と供給の観点から、米や野菜の価格が高騰する時期とその理由について考察します。また、これらの価格変動が東北経済に与える影響についても検討します。
■講師 アレイ ウィルソン(経済学科教授)

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

経済学科 研究支援課 みやぎ県民大学



- 募集人数／定員50名
■受講料／無料
■主催／研究支援課
■共催／宮城県
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／メール又ははがきで住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、9月1日(月)～9月30日(火)にお申込みください。
■申込先・問合せ先／研究支援課
TEL:022-354-8121 Email:kenshi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／全講座受講者には修了証を交付します。参加希望の講座のみ受講することも可能です。

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員なし

- 日時:2025年10月11日(土) 全1回
13:00～未定(受付開始時間 12:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

現在学校で社会科の授業を受けている生徒のみなさん、またかつてそうであった一般のみなさん、そして将来社会科の教員になりたいと夢見ている大学生のみなさん。そうした全てのみなさんに今こそ問います。「なぜ私たちは学校で歴史を学ぶのでしょうか?」今回、中学・高校の現場から二人の講師をお迎えし、これまでの体験談をふまえて、それぞれのお考えを聞かせてもらおうと思います。『ボーッと生きてんじゃねえよ!』と叱られないように、みなさんも一緒に悩んでみませんか。なお、現役の先生方も是非ご参加ください。

- 講師 鵜飼 昌男
(元関西大学中等部・高等部校長(現神戸学院大学共通教育センター特任講師))

- 講師 柴田 義大
(仙台市教育局生涯学習部文化財課調査調整係主事)

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

アジア流域文化研究所 講演会



- 募集人数／定員なし
■受講料／無料
■主催／アジア流域文化研究所
■問合せ先／アジア流域文化研究所
TEL:022-264-6370 Email:ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／内容は一部変更となる場合がございます。最新情報は本学HPにてご確認ください。

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員100名

- 日時:2025年10月11日(土)・18日(土) 全2回
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館H304教室

英文学科の二つの学問分野、「英米文学分野」と「英語学分野」で、実際にどのようなことを学べるのかを、おもに高校生の参加者のためにわかりやすくお示します。もちろん知的好奇心旺盛な「元高校生」の一般の皆様にも受講していただけます。

- 第1回 2025/10/11(土) 13:15～14:45(受付時間 12:45)
発音されないkの正体: "knight"に見る英語の歴史と今
■講師 大沼 仁美(本学英文学科准教授)

- 第2回 2025/10/18(土) 15:00～16:30(受付時間 14:30)
クリストファー・マローウの『フォースタス博士』を読む
ーフォースタス博士の宇宙に関する疑問は何を意味していたのか?ー
■講師 石橋 敬太郎(本学英文学科教授)

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

英文学科 公開講座



- 募集人数／定員100名
■受講料／無料
■主催／英文学科
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■問合せ先／学修支援課
TEL:022-354-8213 Email:ls-jj@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／最新情報については、本学HPをご覧ください。

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員100名

- 日時:2025年10月18日(土) 全1回
13:30～15:00(受付開始時間 13:00)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

This lecture explores the history and legacy of British Diaspora Literature, from classical theories to contemporary ideas. It examines key authors such as Salman Rushdie, V.S. Naipaul, Andrea Levy, Zadie Smith, and Bernardine Evaristo.

- 講師 オウマ メイ ウェンドウ(本学英文学科講師)

キーワード Q 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス

英語英文学研究所 講演会



- 募集人数／定員100名
■受講料／無料
■主催／英語英文学研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／申込フォームよりお申込みください。
■申込先・問合せ先／研究支援課(英語英文学研究所担当)
TEL:022-264-6401 Email:c1511023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／お申込みは上記申込方法の申込フォームリンクからお申し込みください。メールにてお申込みの際は、件名を「英語英文学研究所公開講座 申込」とし、次の事項を申込先のメールまでお知らせください。①氏名(フリガナ) ②電話番号
申込締切:10月16日(木)17:00までとなります。
当日のご参加も可能ですが、事前にお申込みいただきますとご案内がスムーズです。
※英語での講演となります。日本語通訳はありません。

16

2025年度「時代の音」
レクチャーコンサート・シリーズ第2回公演

ロマン派の時代
ロマン派の宗教音楽～教会からコンサートホールへ～

申込必要／有料／五橋キャンパス／定員500名

■日時:2025年10月18日(土)
15:00～17:00(受付開始時間 14:30)
■会場:五橋キャンパス 押川記念館ホール

「時代の音」レクチャーコンサート・シリーズは、一般的なコンサートとは異なり、演奏を聴くのみならず、その音楽に込められた想いや音楽が奏でられた時代背景等、音楽に関する知識を講義する公開講座です。今回は声楽家・合唱指揮者の大島博氏を講師としてお迎えし、シューマンの「ミサ・サクラ」やブラームスの「ドイツ・レクイエム」等の演奏を軸に、伝統的な教会音楽から宗派を超えた宗教的作品へと移行する時代の音楽観や宗教観について解説します。【出演者】大島博(講師・指揮)／今井奈緒子(オルガン)／星川美保子(ソプラノ)／谷地畠晶子(アルト)／川西祐毅(テノール)／中川郁太郎(バス)／ジングアカデミー東京(合唱)

講師 大島 博(声楽家・合唱指揮者)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス 学長室政策支援IR課 時代の音

■募集人数／定員500名
■受講料／3,000円(学生券1,500円)
■主催／東北学院大学・河北新報社
■対象／一般・学生(未就学児の入場はご遠慮ください。)
■申込方法／下記よりチケットをご購入ください。
■申込先／東北学院大学生協各店／藤崎／河北チケットセンター／チケットぴあ／ローソンチケット
■問合せ先／学長室政策支援IR課
TEL:022-264-6424 FAX:022-264-6364 Email:tgppo@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／やむを得ない事情により公演日時、会場、出演者および受講料等は変更となる場合がございます。

17

歴史学科第27回公開講座
「貨幣から見る歴史」

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員なし

■日時:2025年10月18日(土) 全1回
15:00～17:30(受付開始時間 14:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H302教室

歴史学科第27回公開講座「貨幣から見る歴史」
経済活動の基盤となる貨幣は、交易圏などのみならず、当時の政治・社会・文化などについても興味深い情報を与えてくれる。本講座では、「貨幣から見る歴史」のテストケースとして12～13世紀の十字軍国家および近世～近代のベトナムを取り上げたい。

講師 櫻井 康人(本学歴史学科教授)
「貨幣から見る十字軍国家」

講師 多賀 良寛(大阪大学大学院人文学研究科准教授)
「アジア貨幣史研究の最前線とベトナム」

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス 歴史学科 公開講座

■募集人数／定員なし
■受講料／無料
■主催／歴史学科
■対象／どなたでもご参加いただけますが、申込みが必要です。
■申込方法／申込フォームにてお申込みください。
■申込先／歴史学科学習支援室(火・水・木曜日開室)
TEL:022-264-6932 Email:ls-jj@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／学修支援課
TEL:022-354-8213 Email:ls-jj@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／申込について、Googleフォームを使用できない方は、問合せ先のメールアドレスまで①お名前②住所③電話番号を記載の上ご連絡をお願いいたします。
※電話での申込・問合せは、火・水・木曜日(10時～17時)事務担当が対応いたします。

18

2025年度教育学科連続公開講義
「学校教育の今」

学校教育は今多くの課題に直面しています。教育系教員が、学校教育が抱える喫緊の課題にどう向き合うか、そして子どもたちの可能性について、具体的な実践を交えながら深掘りしていきます。

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員50名

■日時:2025年10月25日(土)・11月1日(土) 全4回
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H303教室

第1回 2025/10/25(土) 13:00～14:20(受付時間 12:30)
「今、ことばの教育を考える」
講師 渡辺 通子(本学教育学科)
ことばは私たちのコミュニケーションを支えるうえで大切なものです。思考と密接にかかわります。ことばの力は必ずしも発達段階に應じながら付いていくというものでもありません。ことばの教育のこれからを小中高等学校の事例から参加者の皆さんと一緒に考えます。

第2回 2025/10/25(土) 14:30～16:00(受付時間 14:20)
「立体図形に関する理解を深める教育内容」
講師 加藤 卓(本学教育学科)
立体図形の中でも円錐については、展開図を見て円錐のイメージを持つなどの学習内容は取り扱われていません。そのため認識が難しいところがあります。また、正方形6枚が辺を接する並びは35通り存在しますが、その中のある並びが正六面体の展開図であることを証明する学習内容は取り扱われていません。展開図可否かの判断も時間と労力を伴うものとなっています。現状を改善する最新の学習内容を提案します。

第3回 2025/11/1(土) 13:00～14:20(受付時間 12:30)
「生活科・総合的な学習の時間の再発見をしよう」
講師 宗形 潤子
(福島大学 人間発達文化学類 附属学校臨床支援センター教授)
みなさんは、生活科・総合的な学習の時間についてどんな印象をもっていますか。本講義では、自分の経験を思い出すことからスタートします。その後、実際に子どもたちがどんな姿で学んでいるのか動画や写真を見ることでその豊かさに触れていきます。その後、設立の経緯、子どもの学びへの影響や求められている教育との親和性、教師が大事にしたいことなどを知ること、新たな価値観が生まれることを期待します。

第4回 2025/11/1(土) 14:30～16:00(受付時間 14:20)
「防災教育の今」
講師 長島 康雄(本学教育学科)
近年、自然災害が頻発し、学校における防災教育の重要性は増えています。教員が担う防災教育における責任範囲について深掘りします。子どもたちの命を守るための具体的な取り組み、危機管理における教員の役割、そして保護者や地域との連携のあり方など、実践的な視点から考察します。災害時に子どもたちの安全を確保するために、教員として何ができるのか、共に考えましょう。

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス 教育学科 公開講座

■募集人数／定員50名
■受講料／無料
■主催／教育学科
■後援／宮城県教育委員会、仙台市教育委員会
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／メールまたは電話にてお申込みください。
■申込先／教育学科合同研究室
TEL:022-721-3361 Email:ls-jj@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／教育学科合同研究室
TEL:022-721-3361 Email:ls-jj@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／同日開催の講義は、どちらか一方のみの受講も可能です。

19

2025年度経済研究所講演会

水道を「わが事」にする住民参加
ー意識系インフラへの転換と共創の可能性

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員150名

■日時:2025年11月1日(土) 全1回
14:30～16:00(受付開始時間 14:00)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

日常的に当たり前に使われている水道は、老朽化と人口減少により構造的な危機に直面している。矢巾町では、アウトリーチや水道サポーターワークショップなど重層的かつ継続的な住民参加を通じて、無関心層も含めた生活者の声を可視化し、水道政策への理解と主体的関与を促してきた。公共インフラの「自分ごと化」が求められるなか、持続可能な水道の再設計に向けて、「無意識系」から「意識系」への転換の実践的可能性を探る。

講師 吉岡 律司(矢巾町上下水道課長、岩手県立大学客員准教授)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス 経済研究所 講演会

■募集人数／定員150名
■受講料／無料
■主催／経済研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／申込フォームよりお申込みください。
■申込先・問合せ先／研究支援課(経済研究所担当)
TEL:022-264-6362 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

20

アジア流域文化研究所
2025年度公開講演会

唐とウイグルー二つの帝国をめぐる考古学のいまー

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員なし

■日時:2025年11月1日(土) 全1回
12:30～未定(受付開始時間 12:00)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

昨年度開催した学術講演会「匈奴と漢」の続編である。今回は唐とウイグルの二大帝国を取り上げる。唐の都・長安城が、周辺諸地域の「みやこ」造りに強い影響を与えたことはよく知られている。日本や韓国、渤海などを対象として、歴史学・考古学の両分野からこれまで様々な研究が積み重ねられてきたが、今回の講演会では、従来あまり注目されてこなかった北アジア世界に対する唐の影響について、発掘現場に精通する3人の講師によって、最新の考古学的成果に基づいた整理・検討が加えられる。

講師 城倉 正祥
(早稲田大学文学学術院教授)

講師 アンフバヤル・パソオリ
(モンゴル科学アカデミー考古学研究所匈奴研究室研究員)

講師 佐川 正敏
(本学歴史学科教授)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス アジア流域文化研究所 講演会

■募集人数／定員なし
■受講料／無料
■主催／アジア流域文化研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■問合せ先／アジア流域文化研究所
TEL:022-264-6370 Email:ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／内容は一部変更となる場合がございます。最新情報は本学HPにてご確認ください。

21

宗教音楽研究所主催
宗教音楽のタベ

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員なし

■日時:2025年11月1日(土) 全1回
16:00～18:00(受付開始時間 15:30)
■会場:土樋キャンパス ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

<第一部>
【指揮】谷地畠 晶子
【独唱】鈴木 美紀子(ソプラノ)
【オルガン】今井 奈緒子
【合唱】宗教部聖歌隊・東北学院中学校・高等学校有志
<第二部>
【オルガン独奏】木下 啓香
曲目:Johann Sebastian Bach(1685-1750):Praeludium pro Organo pleno in Es BWV 552,1
Heinrich Scheidemann(um 1595-1663):Ein feste Burg ist unser Gott ほか

講師 鈴木 美紀子(ソプラノ歌手)
木下 啓香(ハンブルク聖カタリーナ教会第二オルガニスト、
ならびにハンブルク聖ニコライ教会合唱指揮者、オルガニスト)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス 宗教音楽研究所 宗教音楽のタベ オルガンリサイタル

■募集人数／定員なし
■受講料／無料
■主催／宗教音楽研究所
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■問合せ先／宗教音楽研究所
TEL:022-354-8312 Email:onken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／やむを得ない事情により開催を中止とさせていただきます。最新情報に関しましては、本学公式HPにてご確認ください。

22

総合人文学科主催
ファカルティ・フォーラム

絵本一手にとれる冒険の世界

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員150名

■日時:2025年11月8日(土) 全1回
14:00～16:00(受付開始時間 13:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

絵本は子どもにとって、どのようなものでしょうか?子どもの成長との関連性や、大人が絵本を読んであげることの意味、心揺さぶる絵本体験の大切さについてお話ししながら、紐解いていきます。また、子どもが相手だからこそ全力で本づくりに取り組む作家の姿にも迫ります。戦後の子どもの本の世界を牽引した瀬田貞二さんは、「絵本は、手にとれる冒険の世界」と語っています。その意味も、皆さまと考えてみたいと思います。

講師 石倉 知直(株式会社 福音館書店 書籍編集部 どものま編集企画室)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス 総合人文学科 研究フォーラム

■募集人数／定員150名
■受講料／無料
■主催／総合人文学科
■対象／どなたでもご参加いただけます。
■申込方法／申込フォームまたはメールにてお申込みください。
■申込先／Email:soujin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／総合人文学科
TEL:022-721-3341 Email:soujin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／メールにてお申し込みの場合は、件名「ファカルティフォーラム申込」とし、①氏名(必須)②ふりがな(必須)③メールアドレス(必須)④電話番号(任意)をご記入ください。

23

法学政治学研究所
第34回公開講座―市民生活と法―

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員50名

- 日時:2025年11月10日(月)～14日(金) 全5回
18:45～20:15(受付開始時間 18:30)
- 会場:土樋キャンパス 5号館521教室

第1回

2025/11/10(月) 18:45～20:15(受付時間 18:30)
株式会社の経営体制と経営監視体制

講師 菊地 雄介(法学法律学科教授)

第二次大戦後に経済社会の民主化を期して導入された株式会社の取締役会制度を皮切りに、昭和の時代に幾度も重ねられた監査役制度の強化改正、株式持ち合い構造の下で続いた経営者支配体制、平成に入って純粋持株会社の解禁に始まるグループ経営の体制整備、令和に入ってグローバル経済の本格化に合わせた世界の機関投資家に馴染みのある経営体制への転換等々、20世紀半ばから現在に至る株式会社制度の歴史の変遷を俯瞰する試みです。

第2回

2025/11/11(火) 18:45～20:15(受付時間 18:30)
情報法としての著作権法

講師 辻田 芳幸(法学法律学科教授)

メモリ容量の拡大やCPU処理速度の高速化による情報技術の劇的な進歩、そしてそれに伴う通信の大容量・高速化による情報通信技術のめざましい発達は、われわれの生活を便利にした半面、様々な問題を引き起こしている。そこで、本講座では、これらの問題のうち主に著作権法に関連するものをピックアップして、問題の分析と共有を行う。日常生活において情報の生産・流通・利用に携わる私達自身にとって、著作権法にかかる正確な知識を共有することが望まれているからである。

第3回

2025/11/12(水) 18:45～20:15(受付時間 18:30)
少子化問題への視座

講師 井上 義比古(法学法律学科教授)

日本においては少子化が急速に進行し、21世紀半ばには危機的状況に陥ると予測されていることから、様々な少子化解決策が唱えられている。それらの諸説は、唱えられている諸々の政策のいずれか或いは組み合わせにより、少子化が食い止められるはずであることを前提としている。しかし、21世紀前半には人口減少局面に入ることが数十年前から予測されていたにもかかわらず、少子化問題に対する有効な政策は、これまで見られなかった。そのことの背景には、少子化の原因に関する体系的な考察が行われない結果、有効な対策が構想されてこなかったことがあると考えられる。本講座では、少子化現象の要因と対策に関する総合的な考察を試みる。

第4回

2025/11/13(木) 18:45～20:15(受付時間 18:30)
保険金請求権をめぐる最近の解釈の動向

講師 横田 尚昌(法学法律学科教授)

保険法の施行後、それまで裁判例や学説で争われていた様々な論点が、同法により立法解決された一方で、いまだ解釈上争われ続けている論点がいくつかあります。これらの点について、特に我々一般の保険契約者にとって気をつけなくてはならない論点の概要と解決の方向性について解説します。

第5回

2025/11/14(金) 18:45～20:15(受付時間 18:30)
刑事訴訟の意義など

講師 富田 真(法学法律学科教授)

刑事訴訟とは厳密には、検察官の告訴提起(起訴)後の手続をいうが、一般的には捜査、公訴、公判、上訴等の国家刑罰権の実現を図るための手続を総称する刑事手続と同義に使われる。また、司法の本質は社会における法的な紛争(民事、刑事、行政)について、証拠に基づいて事実認定を行い、これに対して法律を解釈・適用して結論を示す方法で解決する公権的な第三者の判断にあるが、刑罰権の実現が法律の定める手続によらなければならないだけでなく、その内容自体も適正であることが求められている(憲法31条、法1条)。

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
法学政治学研究所 公開講座



- 募集人数／定員50名
- 受講料／無料
- 主催／法学政治学研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームまたはメールにてお申し込みください。
- 申込先／法学政治学研究所 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- 問合せ先／研究支援課(法学政治学研究所 担当)
TEL:022-264-6406 FAX:022-264-6530 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／メールでお申込みの場合、件名は「法学政治学研究所公開講座申込み」として以下の事項をお知らせください。①氏名(フリガナ)、②電話番号【申込先着順】
申込締め切りは11月4日(火)17:00までとなります。
- ※「市民生活と法」は連続5回の講座となっております。1講座からでも受講可能ですが、その場合はメールよりお申し込みください。

24

ヨーロッパ文化総合研究所
公開講演会(後期)

「戦争とビザンツ帝国―戦いのあとで―」

申込不要／無料／土樋キャンパス／定員なし

- 日時:2025年11月15日(土) 全1回
15:00～17:30(受付開始時間 14:30)
- 会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

「千年帝国」と言われるビザンツ帝国の歴史は多岐・多様に及ぶが、本講座では「戦争」をキーワードとしたお話を、長年にわたって我が国のビザンツ帝国史研究を牽引してきたお二人の専門家からいただく予定である。

講師 井上 浩一(大阪市立大学名誉教授)

「戦いのあとで―ビザンツ＝イスラーム捕虜交換」
8世紀から10世紀にかけてビザンツ帝国は、隣接するイスラーム国家アッバース朝の侵入を毎年のように受けていた。戦いが一段落するたびに、皇帝は戦争捕虜の交換をカリフに申し入れ、実現させている。200年にわたって両国間で繰り返された捕虜交換の様子をみるとともに、なぜビザンツ帝国が捕虜交換に熱心だったのかを、皇帝専制国家というビザンツ帝国の支配体制のあり方から考えてみたい。

講師 根津 由喜夫(金沢大学人間社会研究域教授)

「ビザンツ再興計画の行方―15世紀イタリア絵画が映す東方情勢」
1453年5月、オスマン朝軍の猛攻にビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルは陥落し、帝国は千年以上に及ぶ歴史を閉じた。この出来事に衝撃を受けた西欧世界では教皇庁を中心に、ビザンツ最後の帝位継承権保持者をもりたて、オスマン朝に対する十字軍を発動する機運が生まれる。本日の講演では、同時代のイタリア絵画を手がかりに、そこに込められた意味を読み解きながら、当時の緊迫した空気を体感することを目指したい。

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
ヨーロッパ文化総合研究所 講演会



- 募集人数／定員なし
- 受講料／無料
- 主催／ヨーロッパ文化総合研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 問合せ先／ヨーロッパ文化総合研究所
TEL:022-264-6379 Email:europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

25

キリスト教文化研究所
第64回学術講演会

恍惚と抵抗 初期キリスト教における女性預言者たちの神学の再構築

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員200名

- 日時:2025年11月22日(土) 全1回
13:00～15:00(受付開始時間 12:30)
- 会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

2世紀後半、小アジア・フリギアでは自信に満ちた女性たちの声が響いていた。預言者マクシミラとプリスキラは、モンタノスと共に「新しい預言」運動を率い、忘我の状態で神の接近と世界の終末を宣言した。そのメッセージは広範な支持を得る一方、激しい反発と弾圧を招いた。しかし、彼女たちの神学は反モンタヌス主義者の引用の中に生き残った。本講演では、モンタノス派研究で学界をリードする、ケルン大学のハイドルン・E・マダー教授が、歴史に埋もれた初期キリスト教女性たちの声を甦らせ、その神学的ビジョンを再構築する。

講師 ハイドルン・E・マダー(ケルン大学教授(新約聖書学))

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
キリスト教文化研究所 講演会



- 募集人数／定員200名
- 受講料／無料
- 主催／キリスト教文化研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームよりお申し込みください。
- 申込先・問合せ先／研究支援課(キリスト教文化研究所担当)
TEL:022-264-6401 Email:c1511023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／お申込みは上記申込方法の申込フォームからお申し込みください。メールにてお申し込みの際は、件名を「キリスト教文化研究所学術講演会 申込」とし、次の事項を申込先のメールまでお知らせください。①氏名(フリガナ) ②電話番号
事前申込締め切り:2025年11月20日(木)17:00までとなります。
- 当日のご参加も可能ですが、事前にお申込みいただきますとご案内がスムーズです。

26

2025年度
東北文化研究所学術講演会

戦国大名の「家」相続と「二屋形」制～伊達家や相馬家等の事例から～

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員150名

- 日時:2025年11月22日(土) 全1回
14:00～16:00(受付開始時間 13:30)
- 会場:土樋キャンパス 8号館5階 ホール

戦国期の多くの諸大名家では、父子による「二頭政治」が行われていた。たとえば、伊達政宗は父輝宗から家督を継承した翌年、父子連名の書状を発給しており、それは相馬家や蘆名家・白河家といった南奥羽(南東北)の諸大名ばかりか、関東の小田原本条家でも確認できる。こうした「二頭政治」を「二屋形」制と仮称し、戦国期の「家」継承(相続)の実態を考えてみたい。

講師 岡田 清一(東北福祉大学名誉教授)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
東北文化研究所 講演会



- 募集人数／定員150名
- 受講料／無料
- 主催／東北文化研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームよりお申し込みください。
- 申込先／東北文化研究所
TEL:022-264-6405 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- 問合せ先／研究支援課(東北文化研究所担当)
TEL:022-264-6405 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／メールにて申込される場合は、件名を「東北文化研究所学術講演会」と記載ください。申込内容:①氏名 ②電話番号
申込締切は、11月20日(木)17:00までとなります。
- 最新情報は、本学HPにてご確認ください。お電話での問い合わせは、平日9:00～17:00の間にご連絡ください。

27

宗教音楽研究所主催
「徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカールト
オルガン演奏会」

申込不要／無料／五橋キャンパス／定員なし

- 日時:2025年11月22日(土) 全1回
16:00～17:45(受付開始時間 15:30)
- 会場:五橋キャンパス 押川記念館押川記念ホール

オルガン:徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカールト
代表曲:ヨハン・ゼバスティアン・バッハ ブランデンブルク協奏曲 第2番 ★
(編曲: J-Pメルカールト)
マルセル・デュブレ プレリユードとフーガ ハ長調 op. 36-3
ポール・デュカス 交響詩「魔法使いの弟子」(ゲーテのバラードによるスケルツォ) ★
ほか(★…連弾)

講師 徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカールト(東京芸術劇場オルガニスト)

東京芸術劇場オルガニストの徳岡めぐみ氏と、J.-Ph.メルカールト氏をお迎えし、オルガン連弾の妙技をお楽しみいただけます。オルガンのオリジナル作品に加え、メルカールト氏によるオーケストラ作品の編曲も演奏いたします。これまでにない、豊かで多彩なオルガンの響きをご堪能ください。

キーワード 2025年度 2025年度秋期 五橋キャンパス
宗教音楽研究所 オルガンリサイタル



- 募集人数／定員なし
- 受講料／無料
- 主催／宗教音楽研究所
- 対象／一般・学生(未就学児の入場はご遠慮ください。)
- 問合せ先／宗教音楽研究所
TEL:022-354-8312 Email:onken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／やむを得ない事情により開催を中止とさせていただきます場合がございます。最新情報に関しましては、本学公式HPにてご確認ください。

28

第61回経営研究所研究会
事業再生と税務の今日の展開

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員100名

- 日時:2025年11月28日(金) 全1回
18:30～20:00(受付開始時間 18:00)
- 会場:土樋キャンパス 8号館4階 841教室

事業再生とは、一般的に財務上の課題を抱える企業が経営の正常化を目指して行う一連の改善活動のことを指し、事業継続を確保するためのものです。具体的な内容には、債務の見直しや、経営改革、事業戦略の策定などが挙げられ、多くの場合、専門家の知見を活用することが求められます。リーマンショックやコロナ禍などの経済状況下では、倒産4法である会社更生法、民事再生法、破産法、特別清算などの法的整理を要求される企業が散見され、今日では人材や人手不足などの要因も重なり、企業は新たな局面を迎えております。本研究会では、事業再生に通曉した租税専門家を招聘し、税務の観点からの事業再生の今日的な潮流を報告していただきます。

講師 関 伸一郎(税理士)

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
経営研究所 研究所



- 募集人数／定員100名
- 受講料／無料
- 主催／経営研究所
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／メールまたは申込フォームよりお申し込みください。
- 申込先／経営研究所 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- 問合せ先／研究支援課(経営研究所担当)
TEL:022-264-6406 FAX:022-264-6530 Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- その他／メールでお申込みの際の件名は「経営研究所研究会申込み」とし、以下の事項をお知らせください。①氏名(フリガナ)、②電話番号【申込先着順】
申込締め切りは11月25日(火)17:00までとなります。

29

図書館・東北学院史資料センター主催
公開講座

史料を通してみるシュネーダーの信仰と思想

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員40名

- 日時:2026年1月10日(土)・24日(土) 全2回
14:00～16:00(受付開始時間 13:30)
- 会場:土樋キャンパス 中央図書館5F視聴覚室

史料を通して三校祖の一人シュネーダーの信仰と思想について取り上げる。シュネーダーはどのような教育を受け、またそれを学生にどのように伝えたのか。また日本社会についてどのように理解していたのかをテーマとして扱う。

第1回テーマ:シュネーダーと日本社会:宣教師の異文化理解

第2回テーマ:シュネーダーと学生たち:宣教師と人格教育

講師 藤野 雄大(本学総合人文学科准教授)

第1回 2026/1/10(土) 14:00～16:00(受付時間 13:30)
シュネーダーと日本社会:宣教師の異文化理解

第2回 2026/1/24(土) 14:00～16:00(受付時間 13:30)
シュネーダーと学生たち:宣教師と人格教育

キーワード 2025年度 2025年度秋期 土樋キャンパス
図書館情報課 公開講座



- 募集人数／定員40名
- 受講料／無料
- 主催／東北学院大学図書館・東北学院史資料センター
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／申込フォームにてお申し込みください。
- 問合せ先／図書館情報課
TEL:022-264-6491
Email:matsumura@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(件名には「公開講座の件」とご記載ください)